

愛知県基幹的広域防災拠点及び 豊山町臨空第2公園

事業進捗状況等説明会

愛知県 防災安全局 防災拠点推進室
豊山町 産業建設部 防災拠点推進室
建設課

◆本日の説明内容

- 1 愛知県基幹的広域防災拠点事業の進捗状況について
- 2 豊山町臨空第2公園（避難所及び賑わい施設）事業の進捗状況について



1 愛知県基幹的広域防災拠点 事業の進捗状況について

(愛知県防災安全局防災拠点推進室)

1-1① 基幹的広域防災拠点事業 (PFI) の進捗

【PFI事業者募集の経緯】

○整備・運営の手法
PFIに基づくBTコンセッション方式

2023年 7月 7日 実施方針の公表

2023年10月20日 入札公告

2024年 3月29日 入札不落(予定価格超過)

2024年 4月 3日 入札不落の公表

1-1② 基幹的広域防災拠点事業 (PFI) の進捗

【民間事業者へのヒアリングについて】

①目的

防災拠点の早期整備に向けて、事業者の幅広い参加を促し、競争性を確保できる事業手法及び事業単位を検討する。

②結果

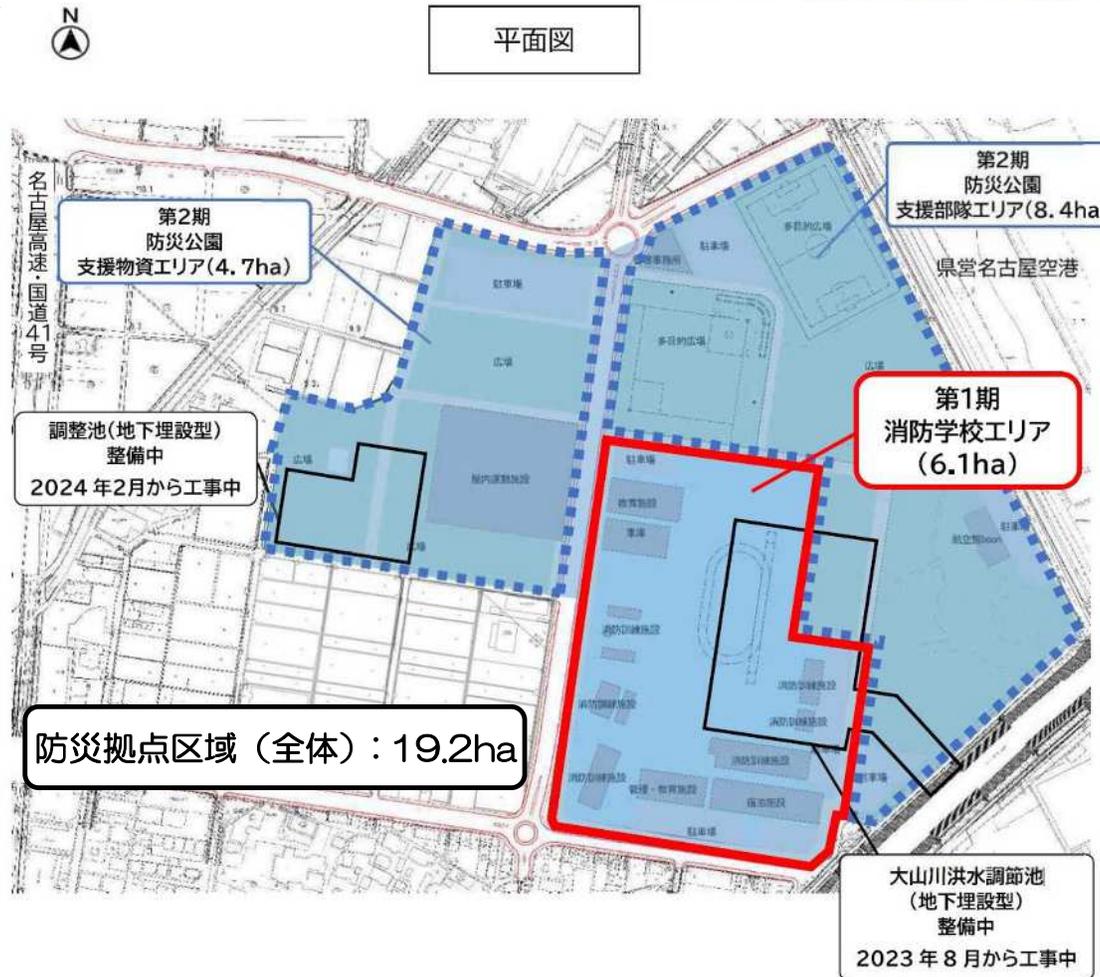
- ・建築資材価格が高止まりしている
- ・電気、通信、空調設備を担う事業者の不足や、2024年問題による慢性的な人手不足が生じ、更なる価格上昇や、建設工期に影響が生じている

1-1③ 基幹的広域防災拠点事業 (PFI) の進捗

【ヒアリング結果を踏まえた事業の進め方】

- ・**消防学校**と**防災公園**を、それぞれ単位として事業を進めます。
- ・第1期として、防災拠点の中核施設である**消防学校**の整備をBTO方式により実施することとし、アドバイザー契約を締結の上、事業者の選定手続きを進めてまいります。
- ・第2期となる**防災公園**の整備に向けては引き続き、民間事業者のヒアリングを継続し、適切な事業手法を選択できるように第1期の消防学校と並行して、迅速に作業を進めてまいります。

1-2 愛知県基幹的広域防災拠点の概要



➤ 第1期

【整備対象施設】

消防学校

敷地面積: 約6.1ha

赤枠のとおり

・災害時に防災拠点の本部機能を担い、平常時には県内消防職員等の育成を担う施設

【事業方式】

BTO方式

・施設の設計・建設後(Build)、県に所有権を移転(Transfer)し、施設の維持管理(Operate)を行う。

・民間事業者は、自ら調達した資金により施設の設計・建設、維持管理を行い、県は、そのサービスの提供に対して対価を支払う(サービス購入型)。

第2期となる防災公園の整備に向けては引き続き、民間事業者のヒアリングを継続し、適切な事業手法を選択できるよう迅速に作業を進めてまいります

1-3 PFI事業スケジュール等の見直し

【第1期・消防学校の整備スケジュール】

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～	
公募準備 公募手続き		<ul style="list-style-type: none"> ● 1月 実施方針の公表(BTO方式) ● 2月 入札公告 					
	アドバイザリー業務 事業費検証、マーケットサウンディング、 公募手続き等		<ul style="list-style-type: none"> ● 7月 入札、提案書受付 ● 9月 落札者の決定及び公表 				
設計・建設 運営・維持管理			<ul style="list-style-type: none"> ● 12月 特定事業契約の締結 	設計・建設(約3年)			完成予定
						運営・維持管理	

・完成予定時期の変更

変更前：2027年4月供用開始予定

今回：2028年度内完成予定

・現在着手している用地取得や造成、調整池建設工事等の進捗に影響はありません。

1-4 用地の取得状況(6月末日時点)

事業	全体	契約済	進捗率
公園	8.1ha	7.7ha	96%
学校	4.4ha	4.1ha	92%
河川	1.1ha	1.0ha	92%
合計	13.6ha	12.8ha	94%

- 基幹的広域防災拠点区域のうち用地取得が必要な面積（全体19.2haから豊山町所有の道路・水路、神明公園の面積を除いたもの）13.6haのうち、12.8haの用地について契約済。
- 引き続き、地権者の皆様はもとより、地元の皆様へ丁寧な説明、適切な情報提供等を行う。

1-5 用地の管理(2024年度)

草刈り

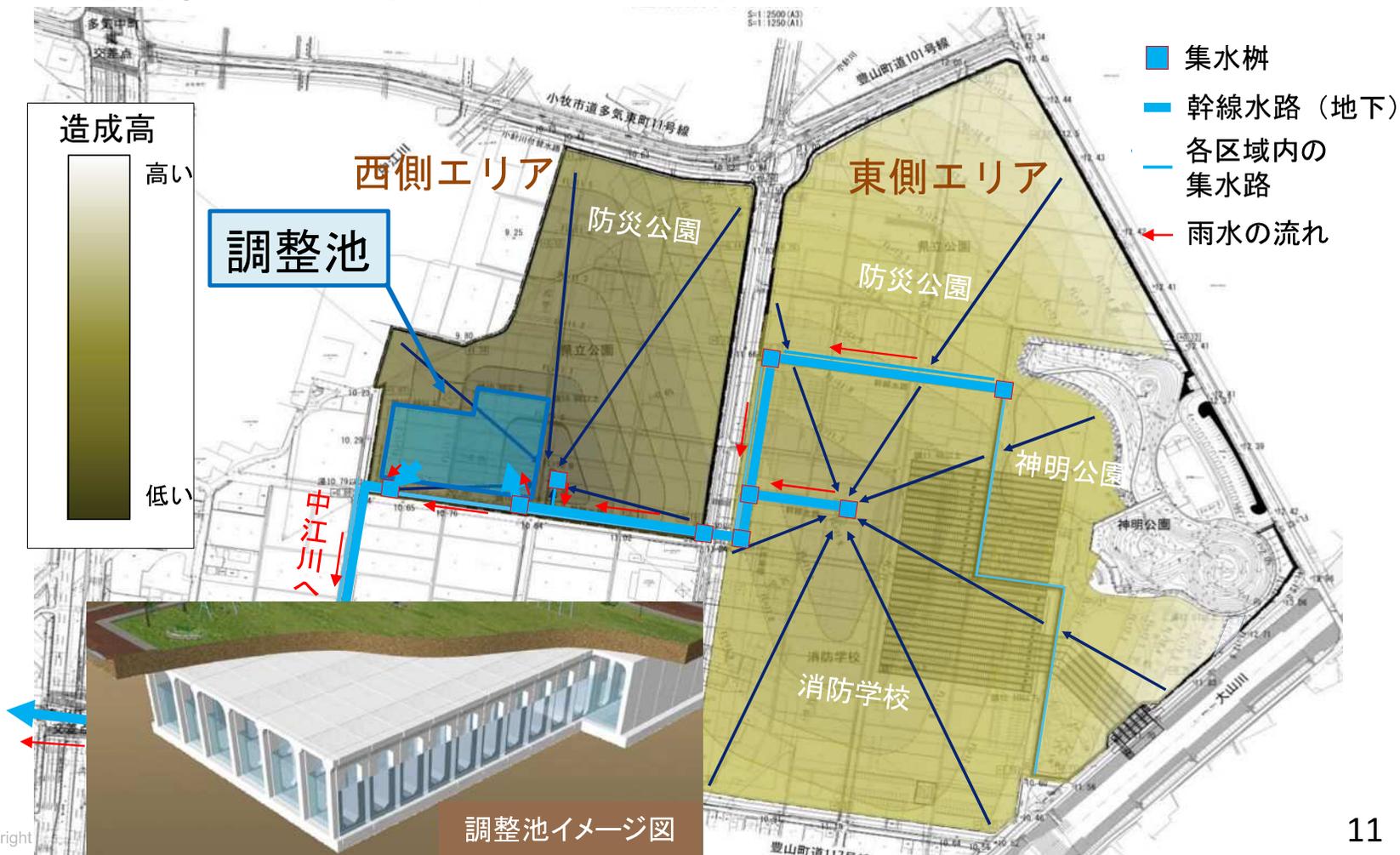
- 取得した事業用地について、5月から草刈りを実施。
- 7月からは業務委託し、道路脇や住宅周辺など、生活への影響が大きい箇所から順に実施。
- 11月には枯草対策として、草刈り業務を委託する予定。

清掃活動

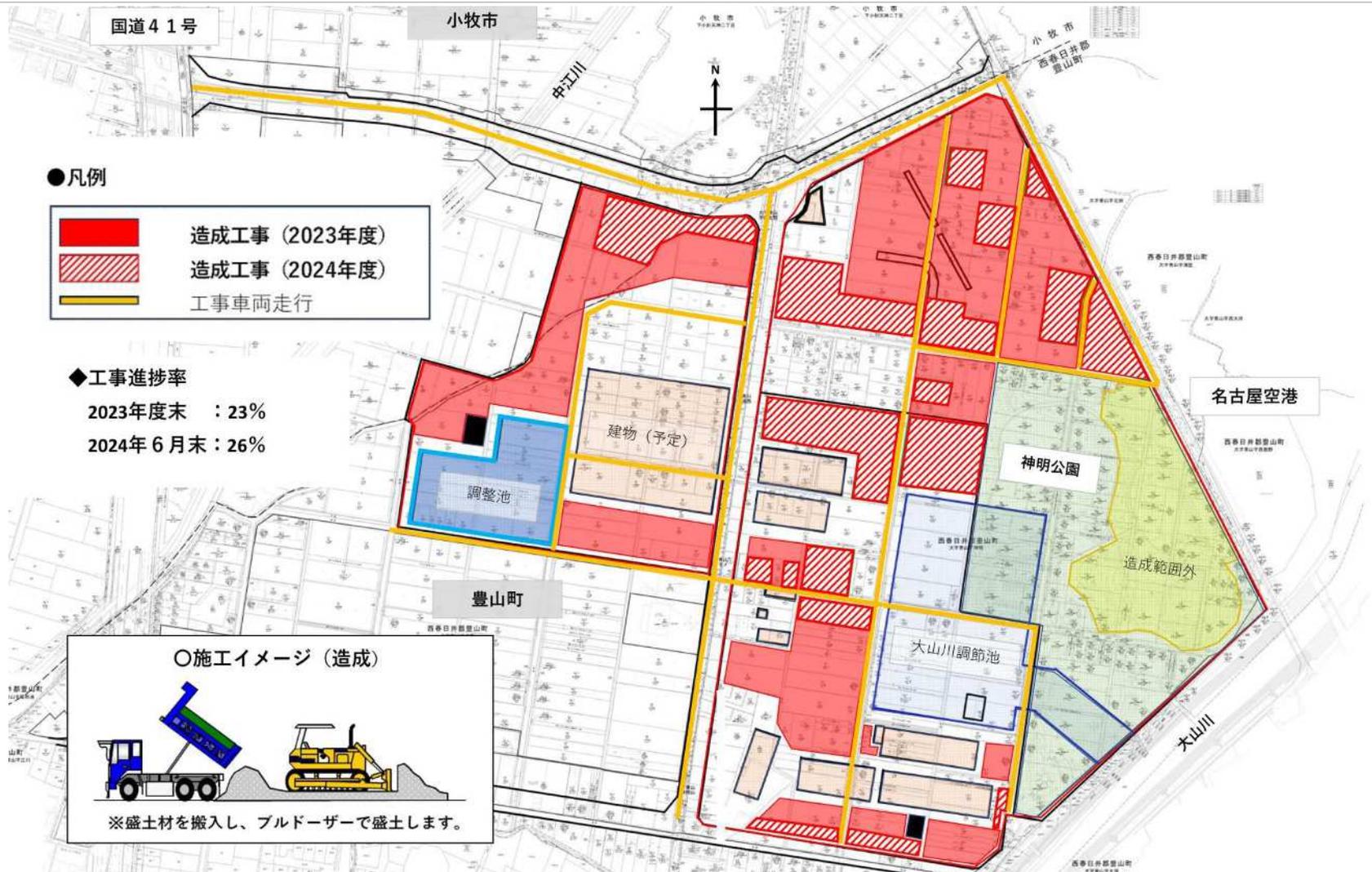
- 5月から1か月に2回程度、清掃活動を実施。
- ポイ捨てされたゴミや不法投棄された粗大ゴミなどの回収を行う。

1-6 工事の計画について

- ・すり鉢状に造成を行い、敷地内の雨水を極力、敷地外に出さない
- ・雨水を幹線水路に集め、調整池で貯留した上で、中江川に放流



1-7① 防災拠点事業の工事進捗状況(造成)



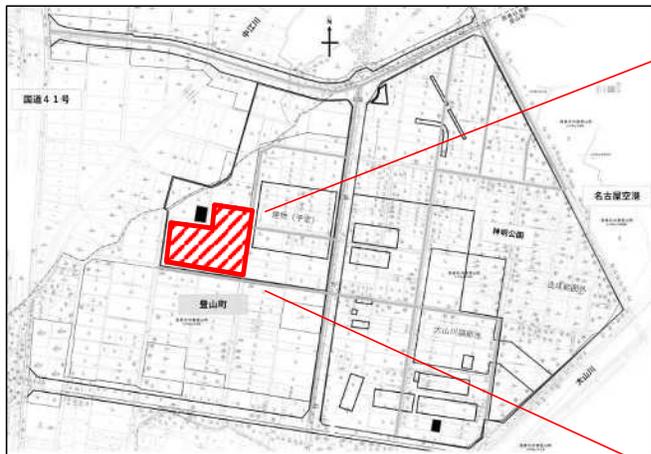
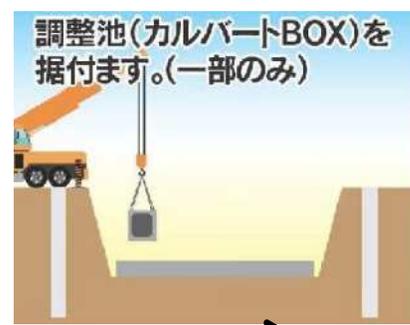
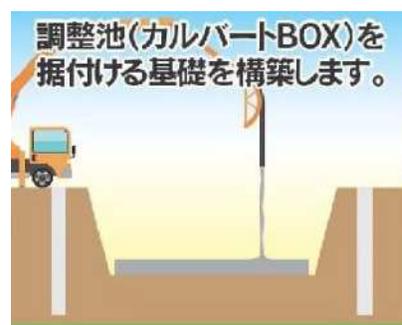
1-7② 防災拠点事業の工事進捗状況(調整池)

遮水壁工

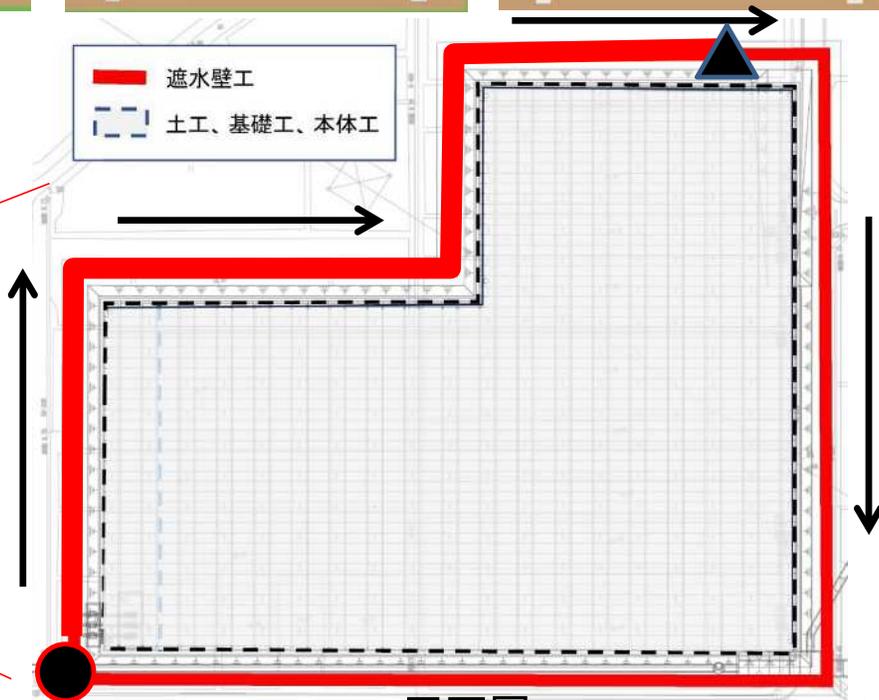
土工

基礎工

本體工

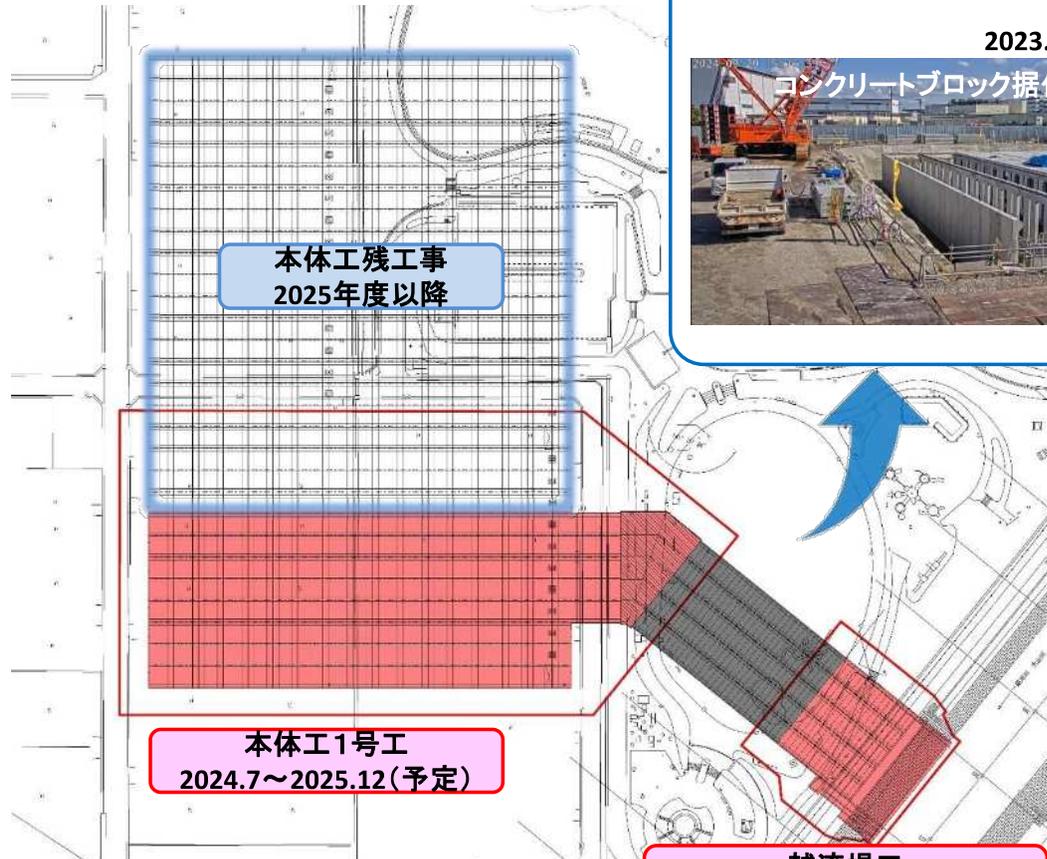


位置図



平面図

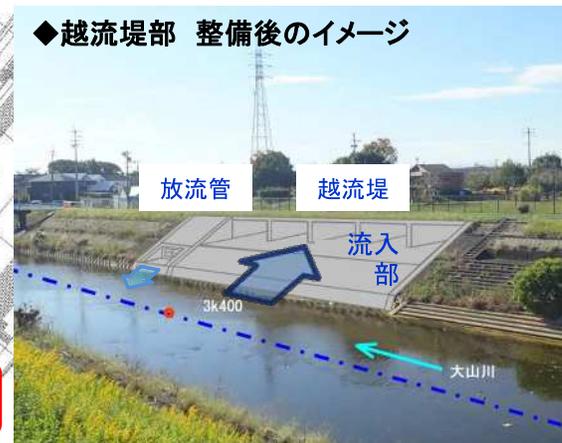
1-7③ 関連事業の工事進捗状況(大山川調節池)



導水路工
2023.10~2024.6【完了】

コンクリートブロック据付状況

導水路内部の様子



1-8① 工事現場における安全対策(1)

工事案内



フェンス



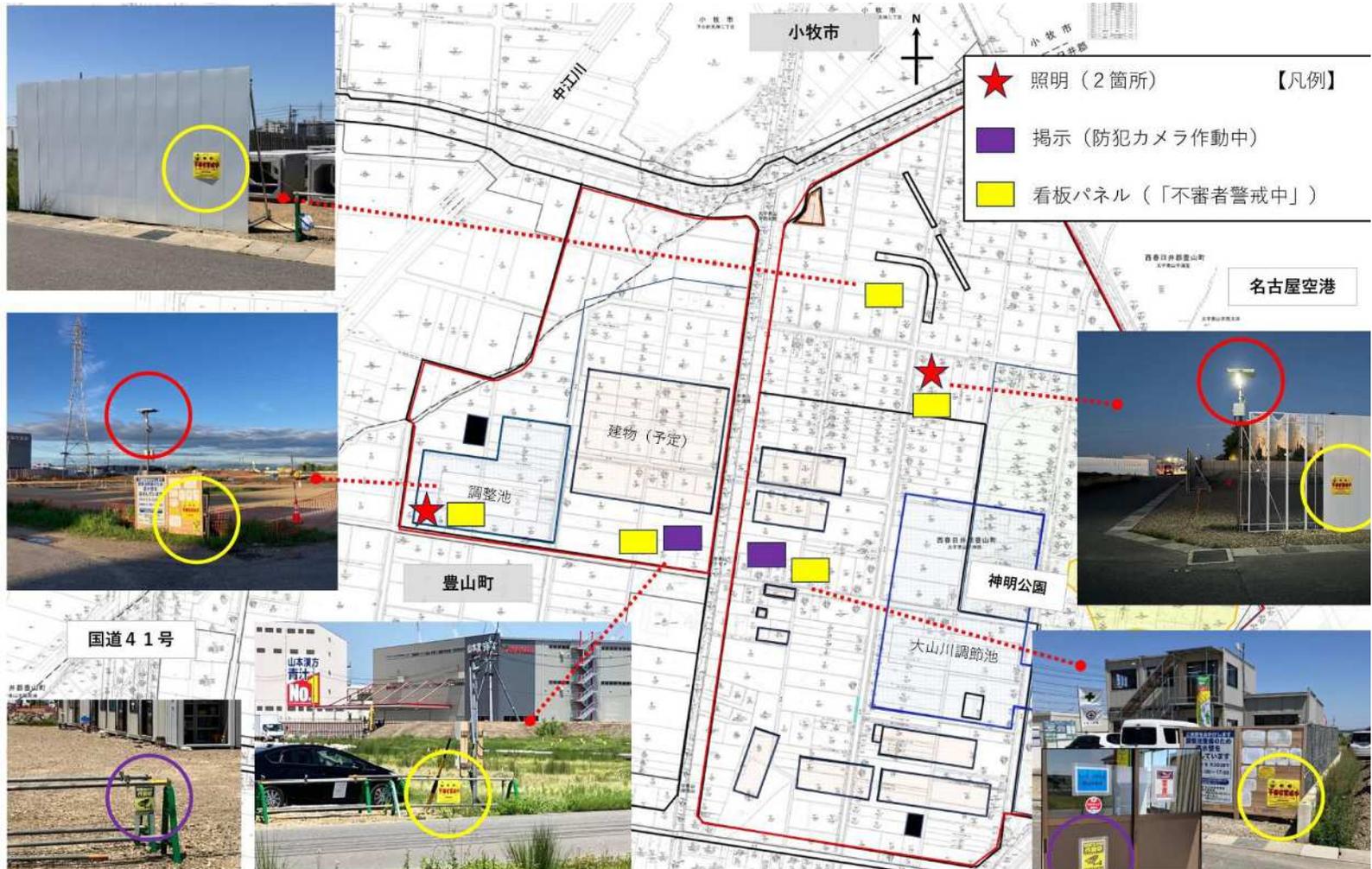
ステッカー



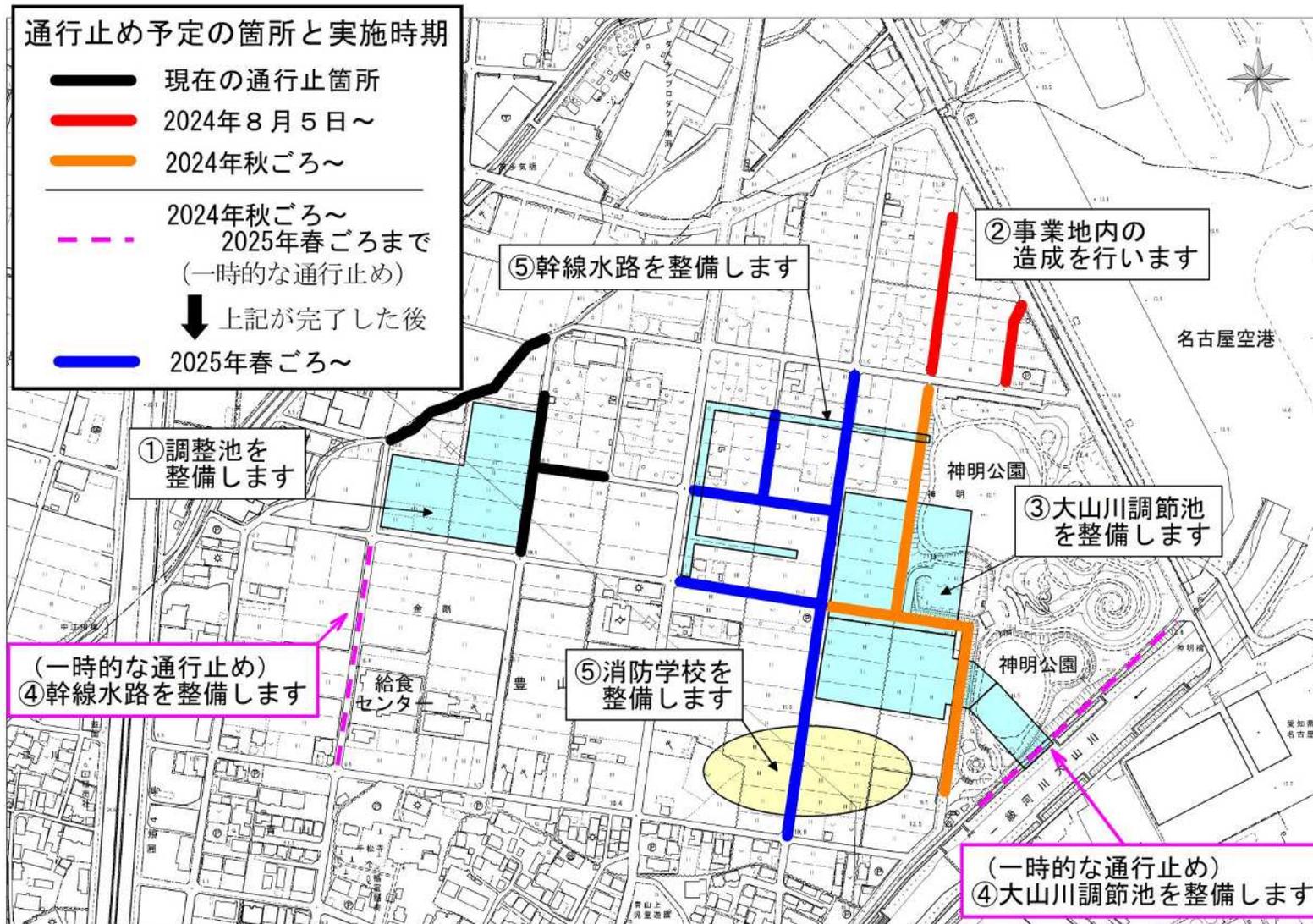
定例会



1-8② 工事現場における安全対策(2)



1-9 道路の通行止め予定

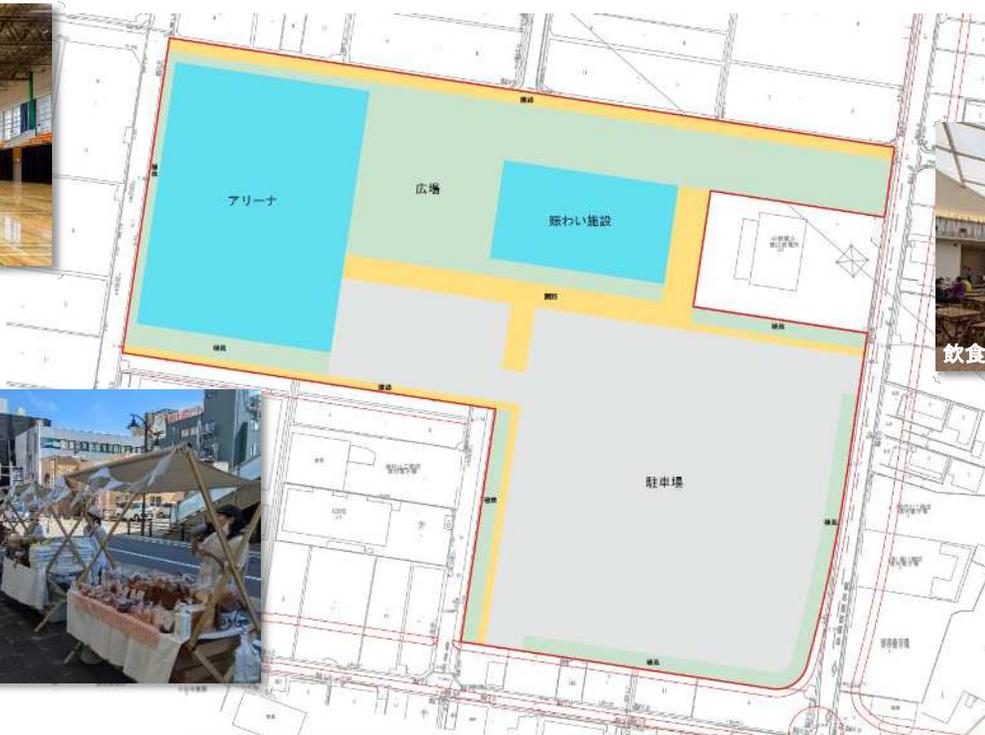




2 豊山町臨空第2公園(避難所 及び賑わい施設)事業の進捗 状況について

(豊山町産業建設部防災拠点推進室)

2-1 臨空第2公園の概要



災害時の安心を守る

被災した地域住民の安心安全を確保するために必要となる防災機能の強化

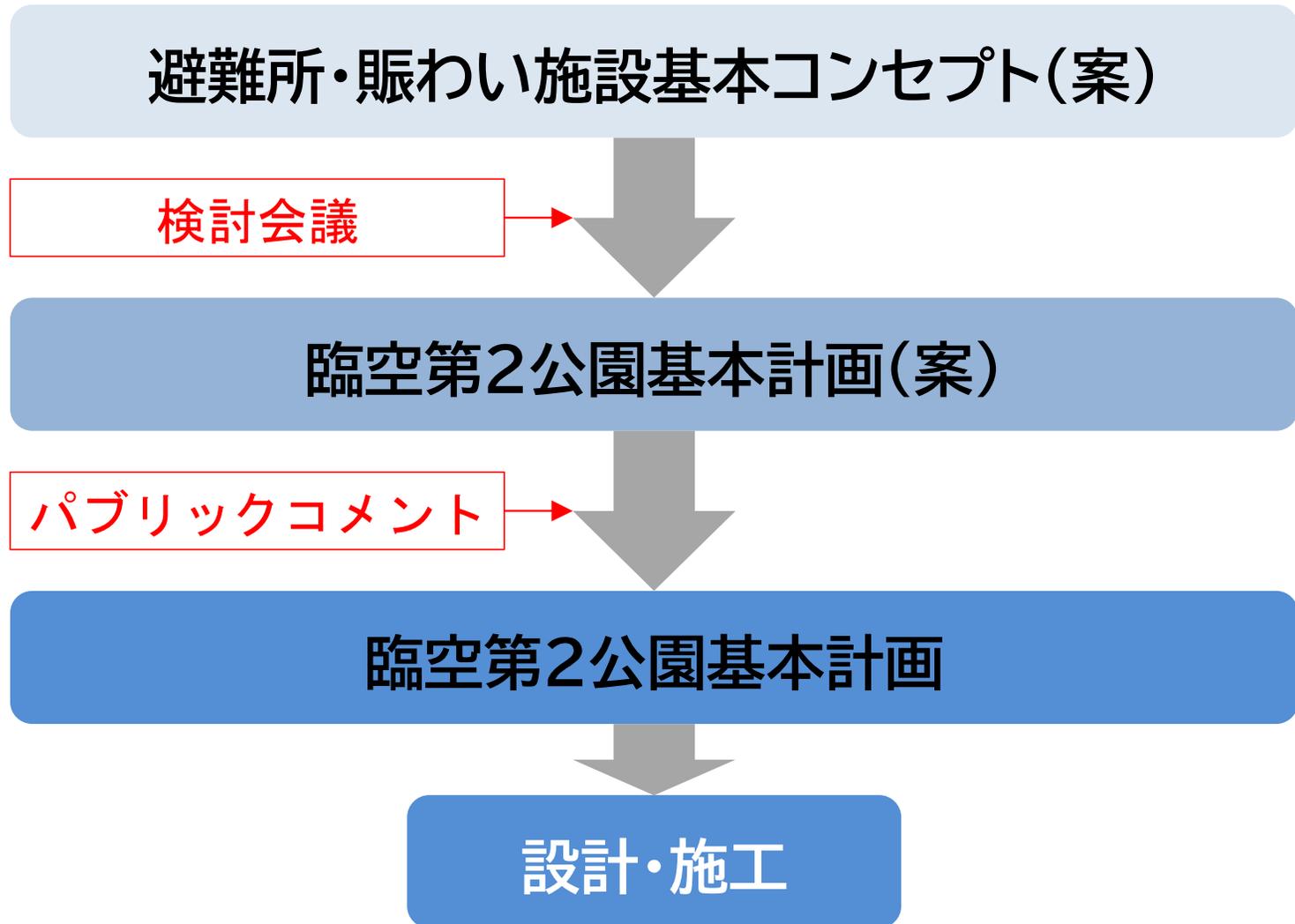
暮らしの憩いと潤いを高める

町民・来場者の暮らしを豊かにする場としてスポーツ機能、健康増進機能、憩いと交流機能を提供

まちの魅力を発信する

豊山町の新たなまちの魅力創出のための都市機能整備と県営名古屋空港をはじめとする町の資源との相乗効果を生み出す魅力発信

2-2 臨空第2公園整備計画の流れ



2-3 臨空第2公園整備検討会議

- 公園の利用者や地域の方の意見、学識的知見を踏まえた計画とするため、以下の委員により設置
 - － 学識経験者(2名)
 - ・ 都市公園・まちづくり等に係る教授
 - ・ 防災に係る教授
 - － 関係団体を代表する者(10名)
 - ・ 体育協会
 - ・ 文化協会
 - ・ 社会福祉協議会
 - ・ 子供会連絡協議会
 - ・ 老人クラブ連合会
 - ・ 新栄小学校区自主防災会
 - ・ 商工会
 - ・ 農協(尾張中央・西春日井)
 - ・ NPO法人豊山町まちづくりサポーター
 - － 町の区域に住所を有する公募委員(3名)
 - － 町長が必要と認めるもの(1名)
 - ・ 愛知県 防災拠点推進室長

2-4 臨空第2公園整備検討会議の経過

	日時	内容
第1回	2023年 12月14日(木)	<ul style="list-style-type: none">・ 会長選任・ 臨空第2公園に係る意見発表<ul style="list-style-type: none">・ アリーナの整備について・ 賑わい施設の整備について・ 緑地帯(オープンスペース)の整備・活用について・ 駐車場の整備について・ その他の整備について
第2回	2024年 2月28日(水)	<ul style="list-style-type: none">・ 避難所・アリーナの導入機能の検討・ 賑わい施設の導入機能の検討・ 避難所としての役割・機能の検討・ 交通に係る検討
第3回	2024年 3月27日(水)	<ul style="list-style-type: none">・ 避難所・アリーナの導入機能の検討・ 賑わい施設の導入機能の検討・ 施設配置および動線の検討・ 公共施設の整備手法について
第4回	2024年 8月7日(水)	<ul style="list-style-type: none">・ 臨空第2公園基本計画(案)について

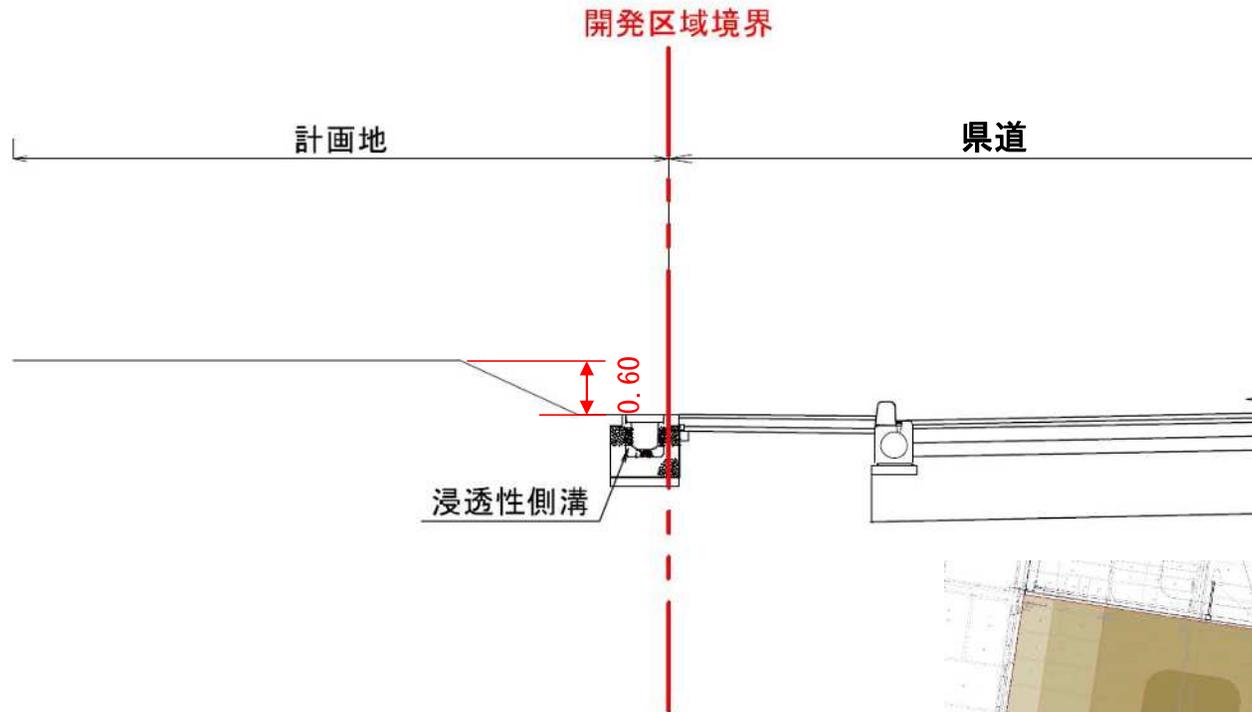
2-5 臨空第2公園の造成等の考え方



2-5① 造成(縁辺部①)

断面①

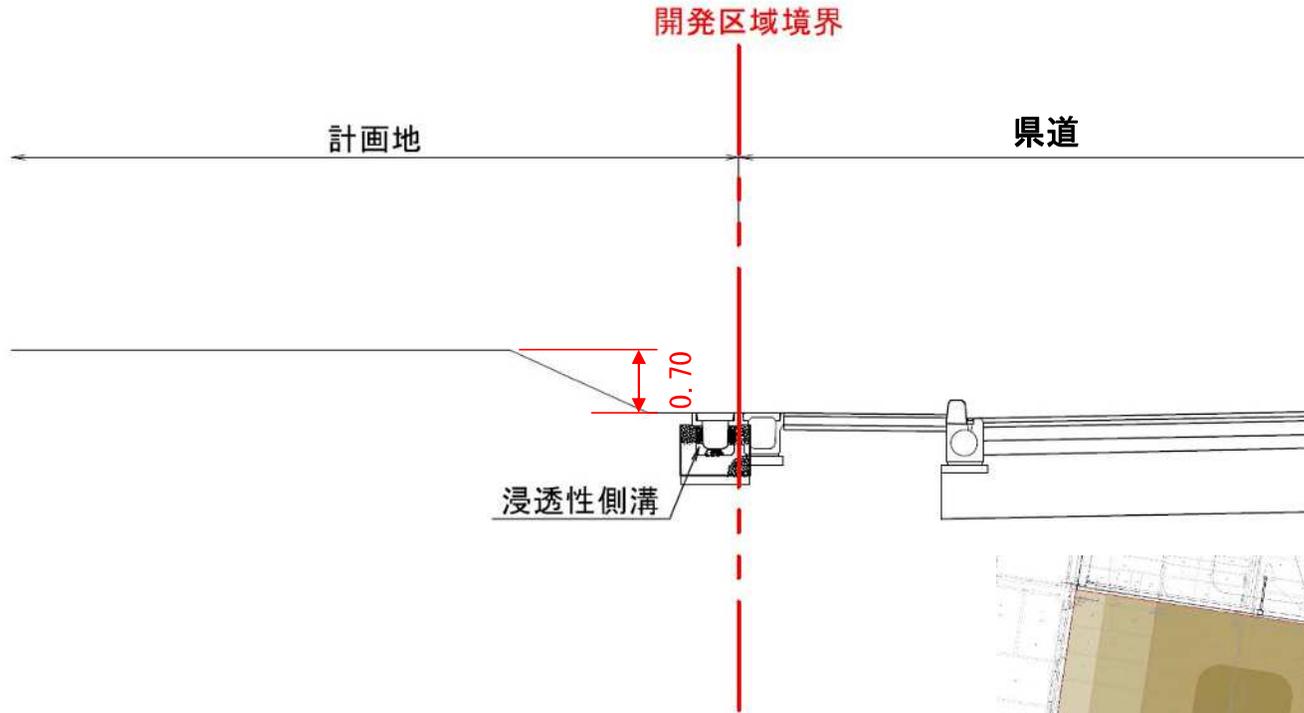
図中の数値はm単位



2-5② 造成(縁辺部②)

断面②

図中の数値はm単位

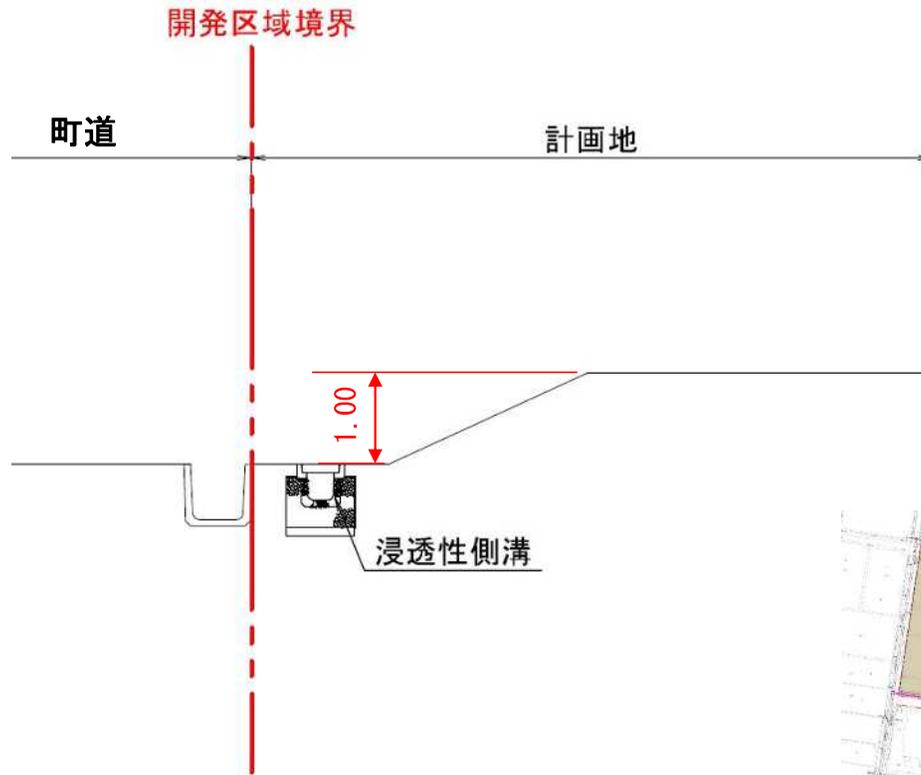


②

2-5③ 造成(縁辺部③)

断面③

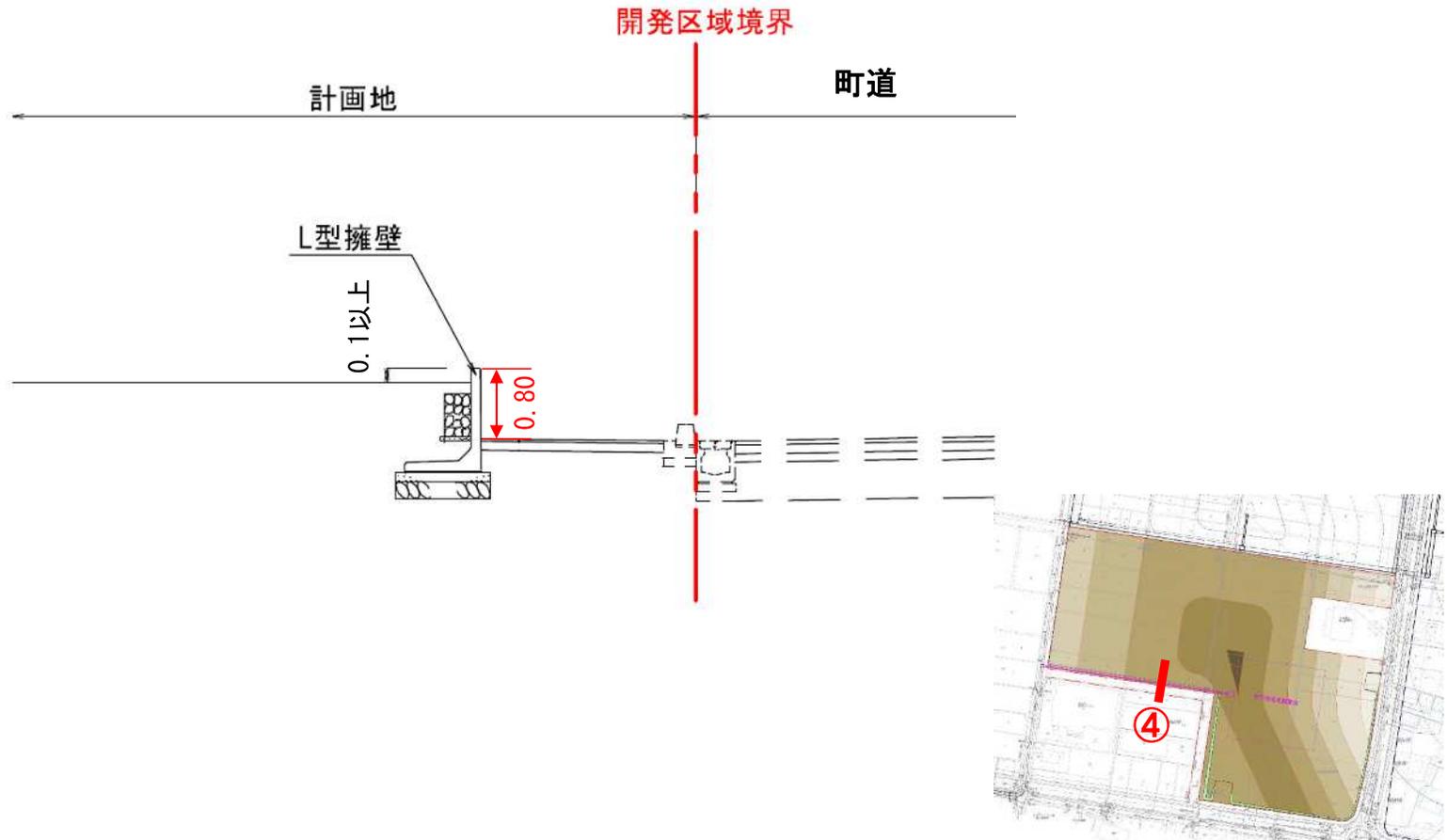
図中の数値はm単位



2-5④ 造成(縁辺部④)

断面④

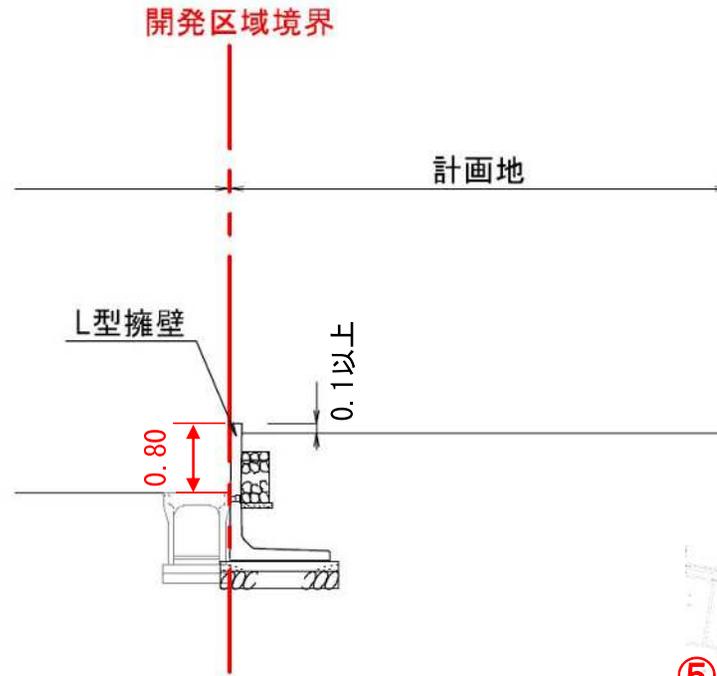
図中の数値はm単位



2-5⑤ 造成(縁辺部⑤)

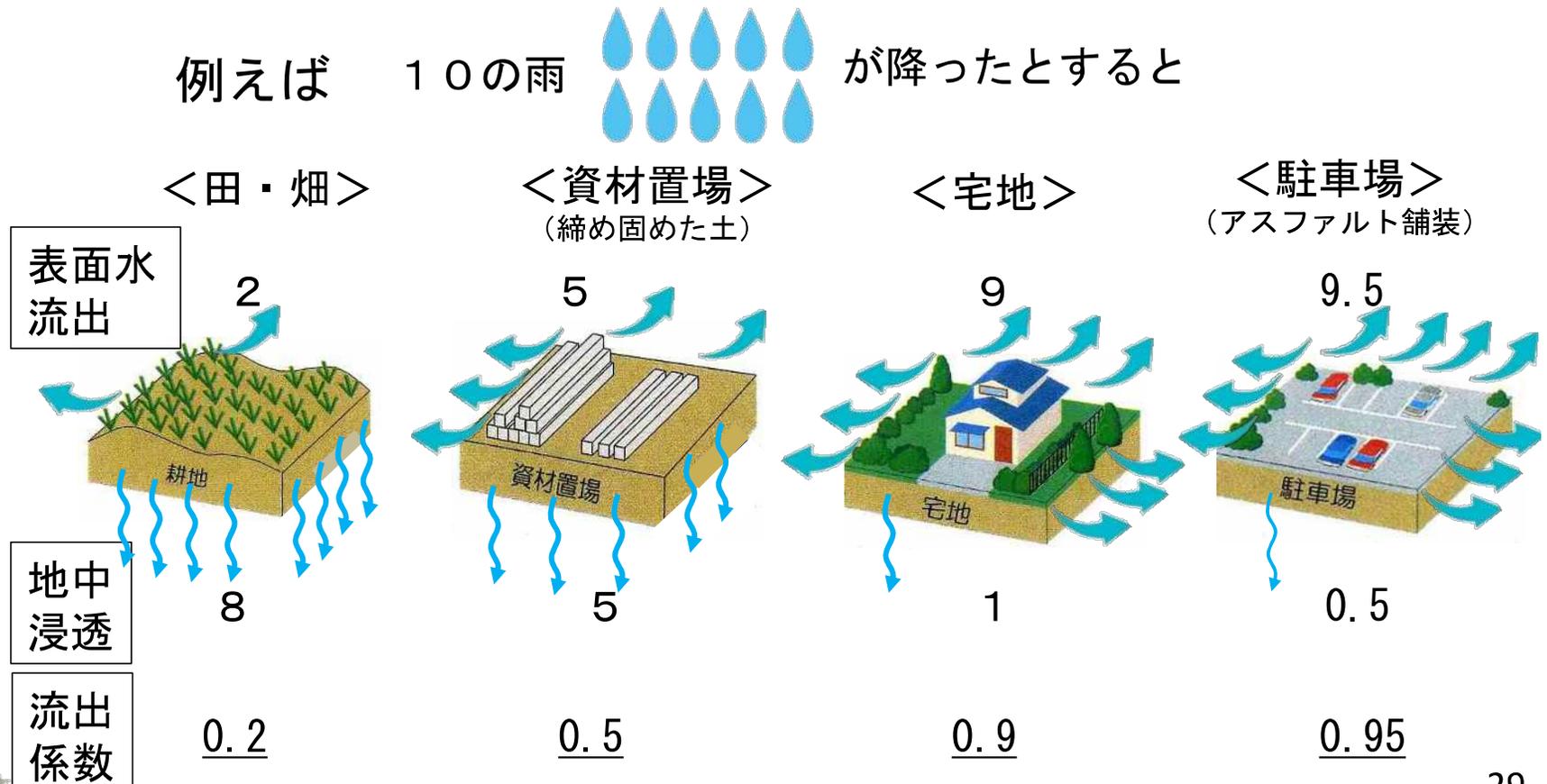
断面⑤

図中の数値はm単位



2-6 調整池「土地利用形態ごとの流出係数」

- 流出係数とは、ある区域に降った雨に対して、地中に染み込まずに表面水として区域外に流出する割合を示す数値
- 土地利用形態ごとに数値を設定



2-7① 調整池「防災拠点区域全体の流出係数」

開発前後の土地利用形態ごとの流出係数と面積を掛け合わせて区域全体での流出係数を算出

開発前（現況）

開発後（公園整備後）



流出係数 = 0.321

流出係数 = 0.877

地中に染み込みにくくなり、表面流出量が増える

2-7② 調整池「計算に使用する雨のデータ」

- 今回の調整池設計に使用している降雨規模は、新川流域における設計上最大の1/30を適用。
- 降雨規模とは、〇年に1回程度の割合で発生する降雨量を想定したもので、河川整備など洪水防御に関する計画の基本となる降雨。
- 本調整池は1/30、30年に1回程度の降雨量を想定して設計。

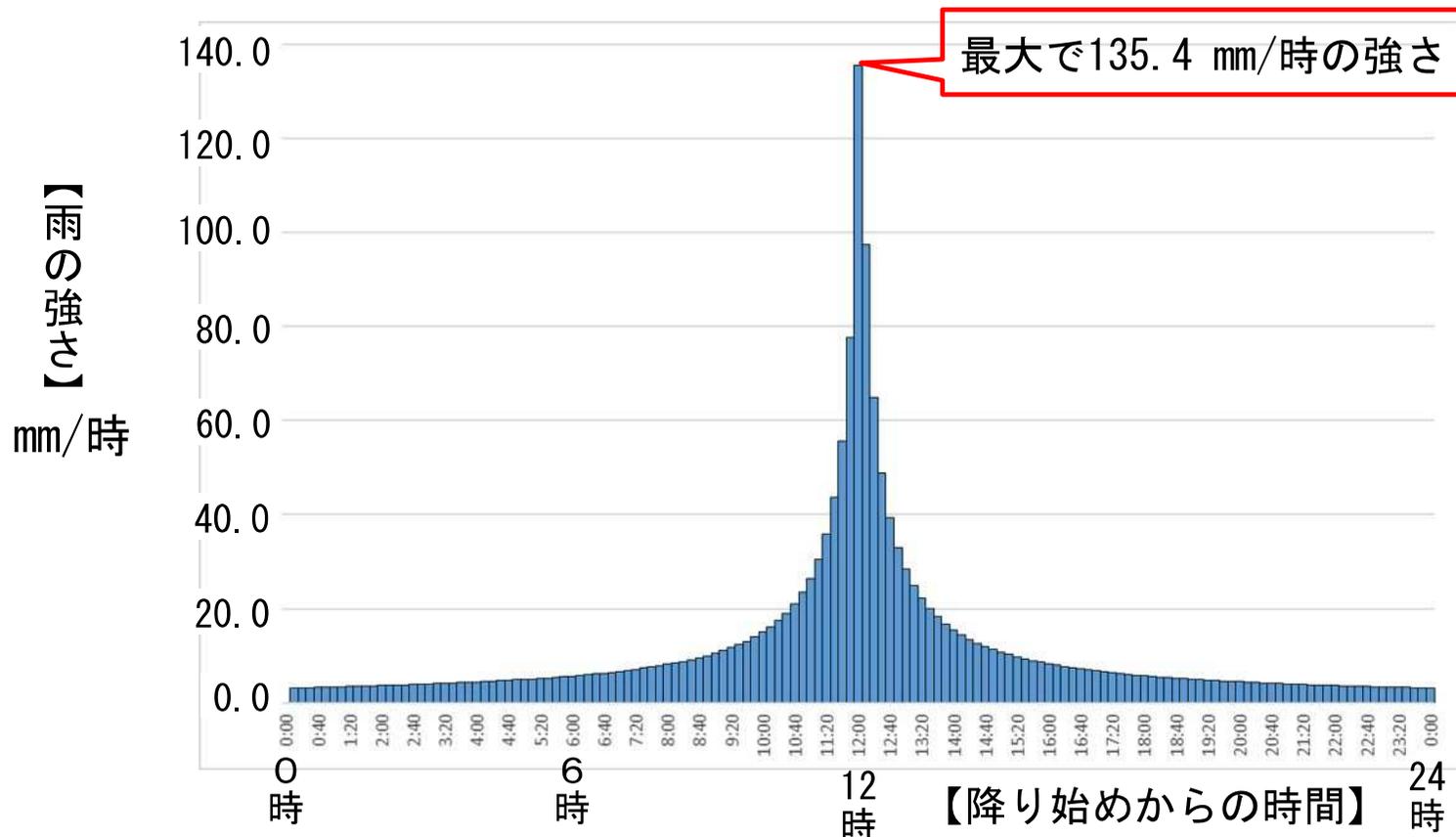
表-3 開発行為に伴う流出抑制対策の指導方針より抜粋

新川、境川、 猿渡川 特定都市 河川流域	市街化区域	市街化調整区域	
			区域区分の変更 (市街化区域への編入) (注1)
降雨規模	1/10	1/10	1/30

(注1) 市街化編入を行わないが、編入相当として計画

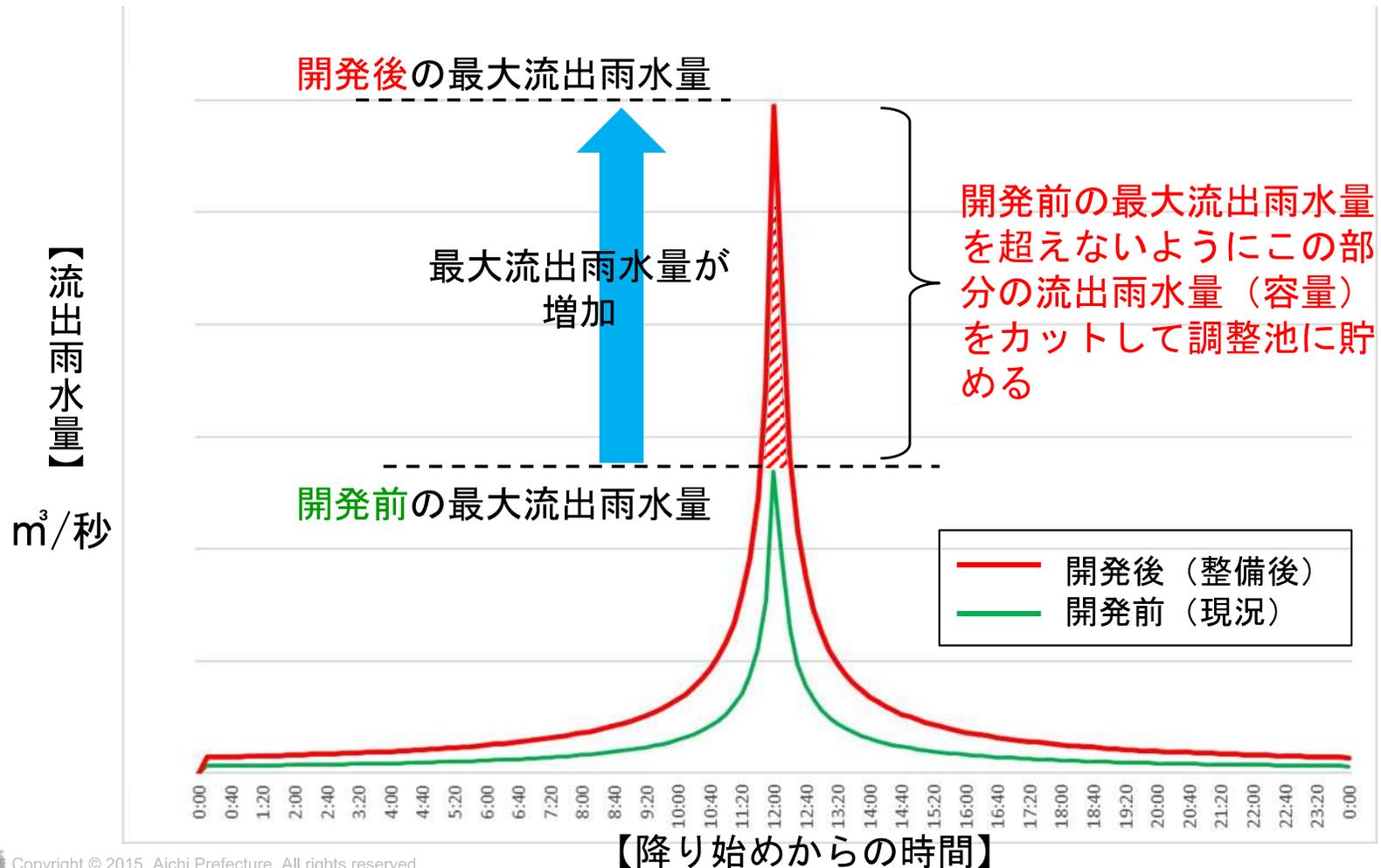
2-7③ 調整池「1/30の降雨規模の雨のデータ」

- 棒グラフの高さは「雨の強さ」、棒グラフの1本の幅は10分間
- 10分ごとに雨の強さが変わり、降り始めから12時間後がピーク

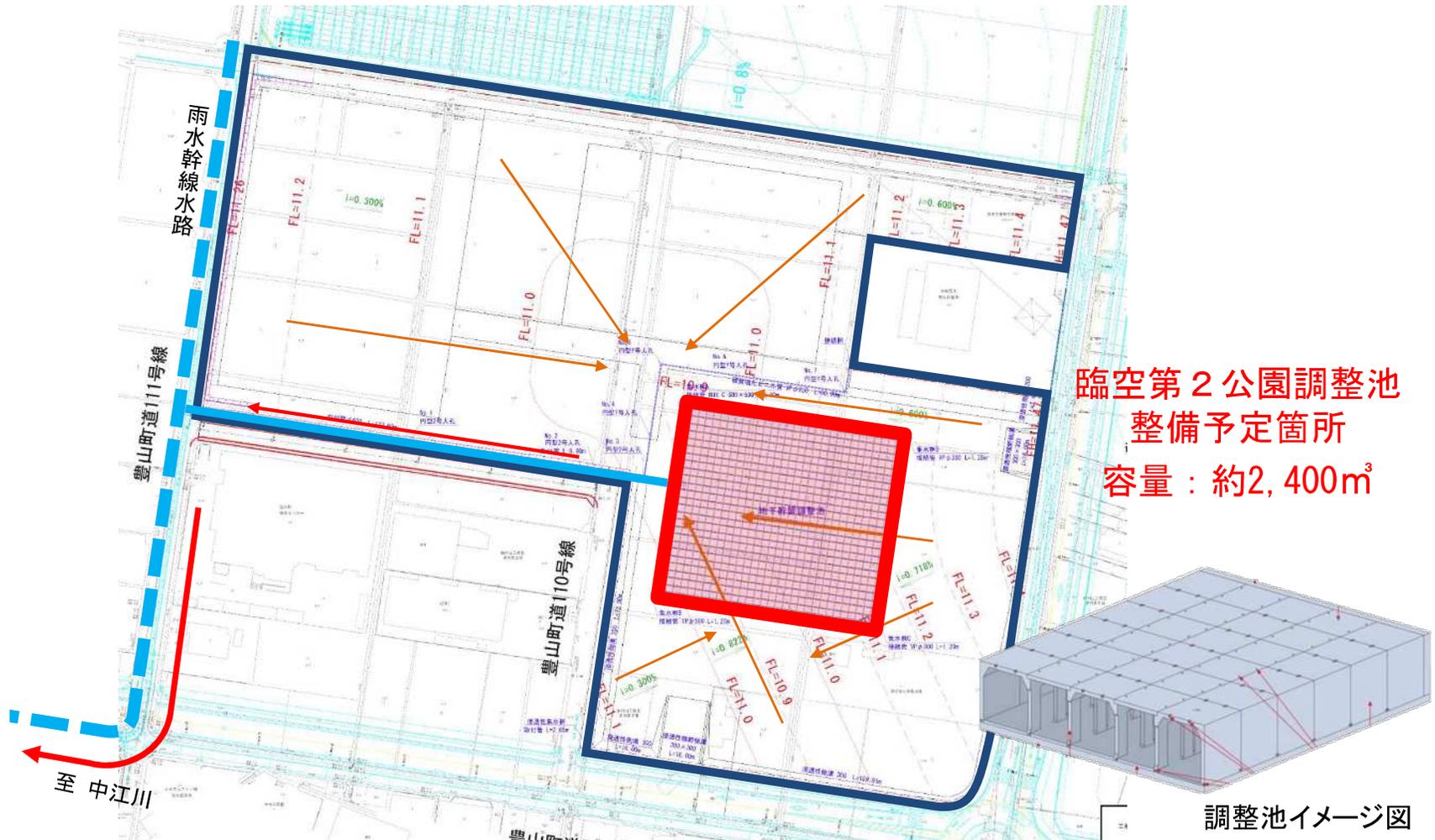


2-7③ 調整池(区域から流出する雨水量)

30年に1回程度の割合で降る雨のデータに開発前・開発後の流出係数を掛け合わせて流出雨水量($\text{m}^3/\text{秒}$)を算出してグラフ化すると以下のとおり



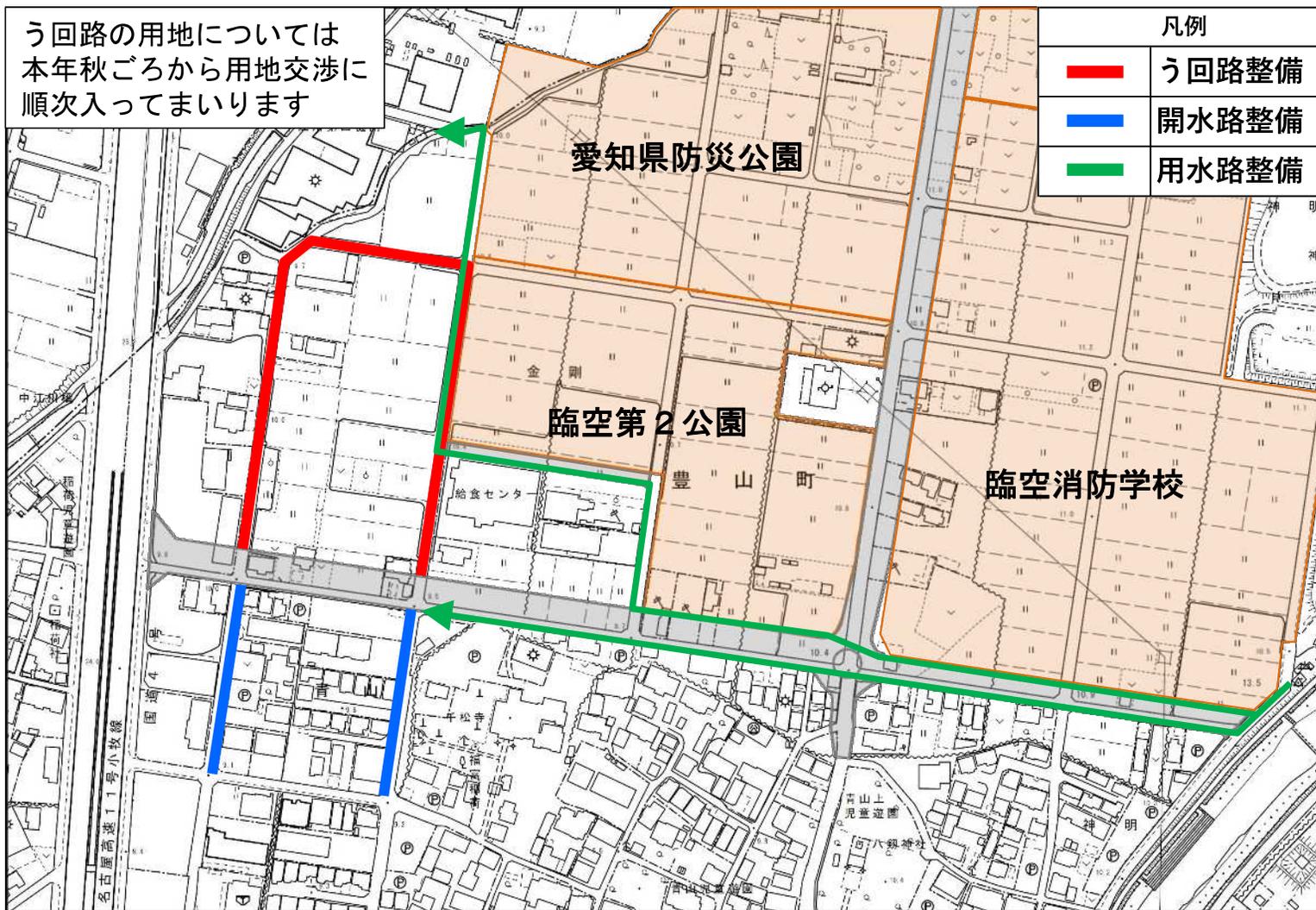
2-7④ 調整池「位置と規模等」



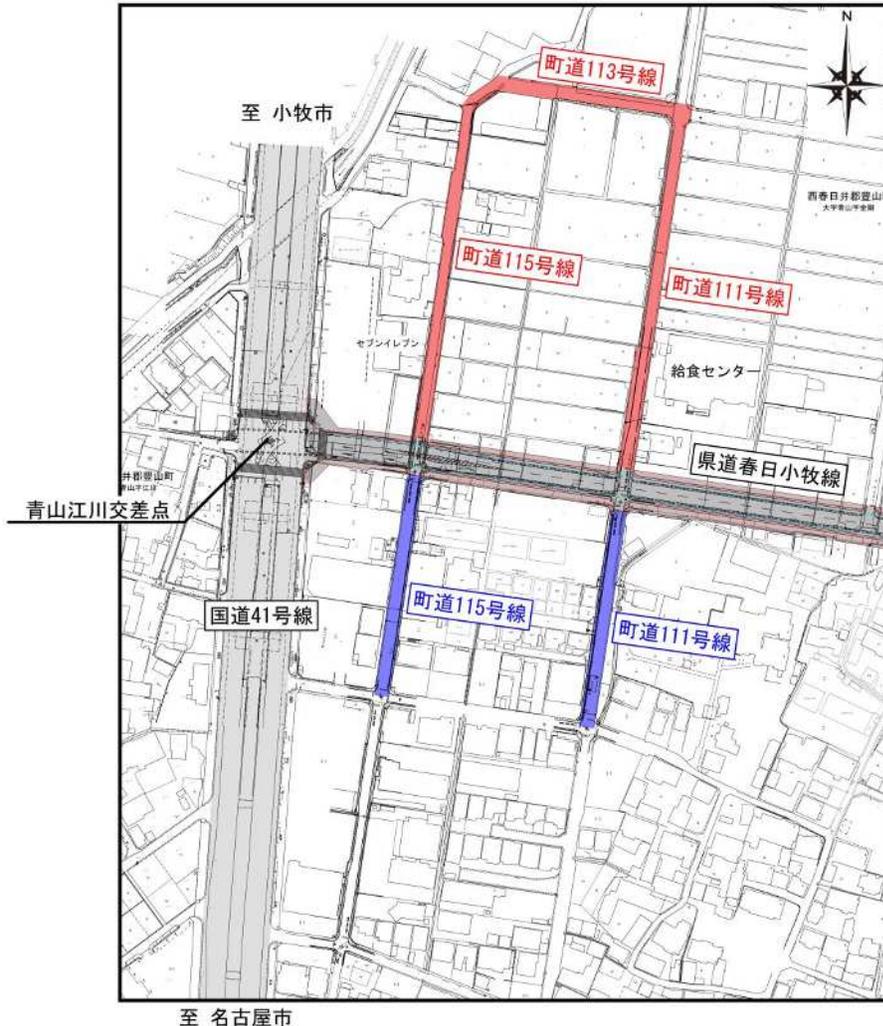
2-8 町事業に係る用地の取得状況(6月末時点)

事業	全体	契約済み	進捗率
臨空第2公園	2.62 ha	1.92 ha	74 %
町道117号 (拡幅道路)	0.16 ha	0.15 ha	92 %
町道110号 (新設道路)	0.09 ha	0.05 ha	55 %
合計	2.88 ha	2.13 ha	74 %

2-9 周辺道路等の整備について



2-10① う回路整備・開水路整備計画概要



県道北側（赤色の区間）

町道111号線・113号線・115号線



未舗装部の道路拡幅による
道路整備

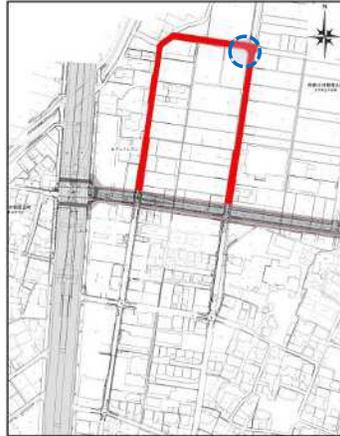
県道南側（青色の区間）

町道111号線・115号線

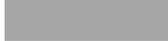


開水路の蓋掛けによる
歩道整備

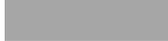
2-10② う回路整備(町道113号線)

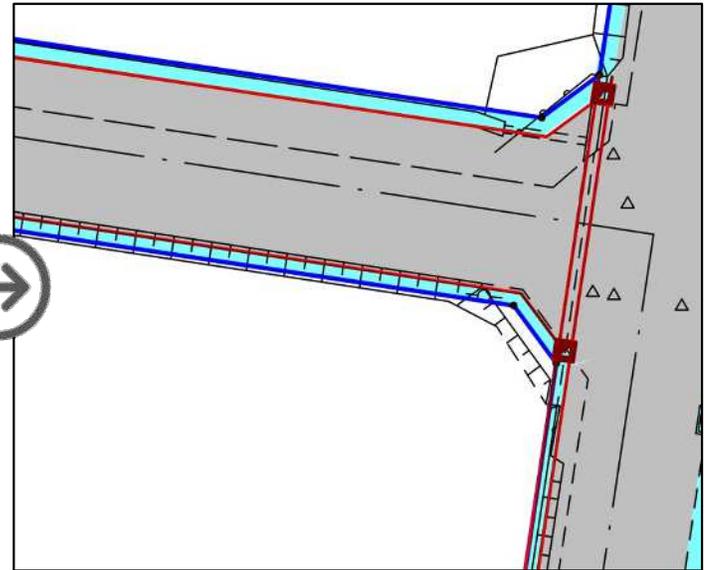
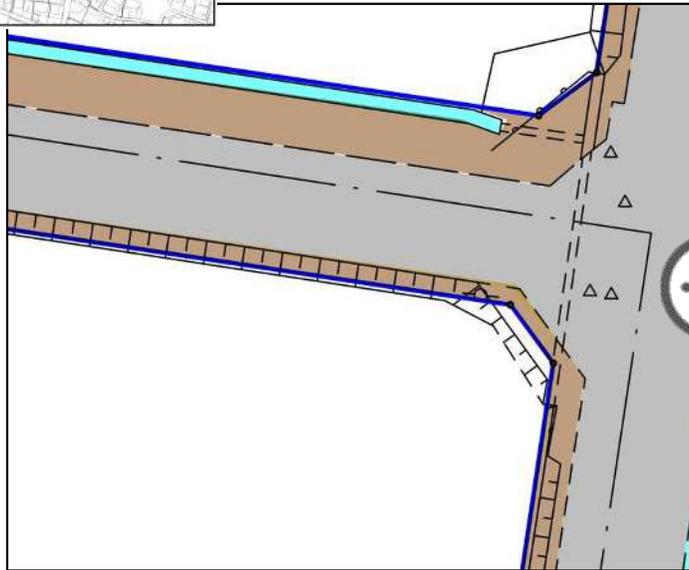


【整備前】

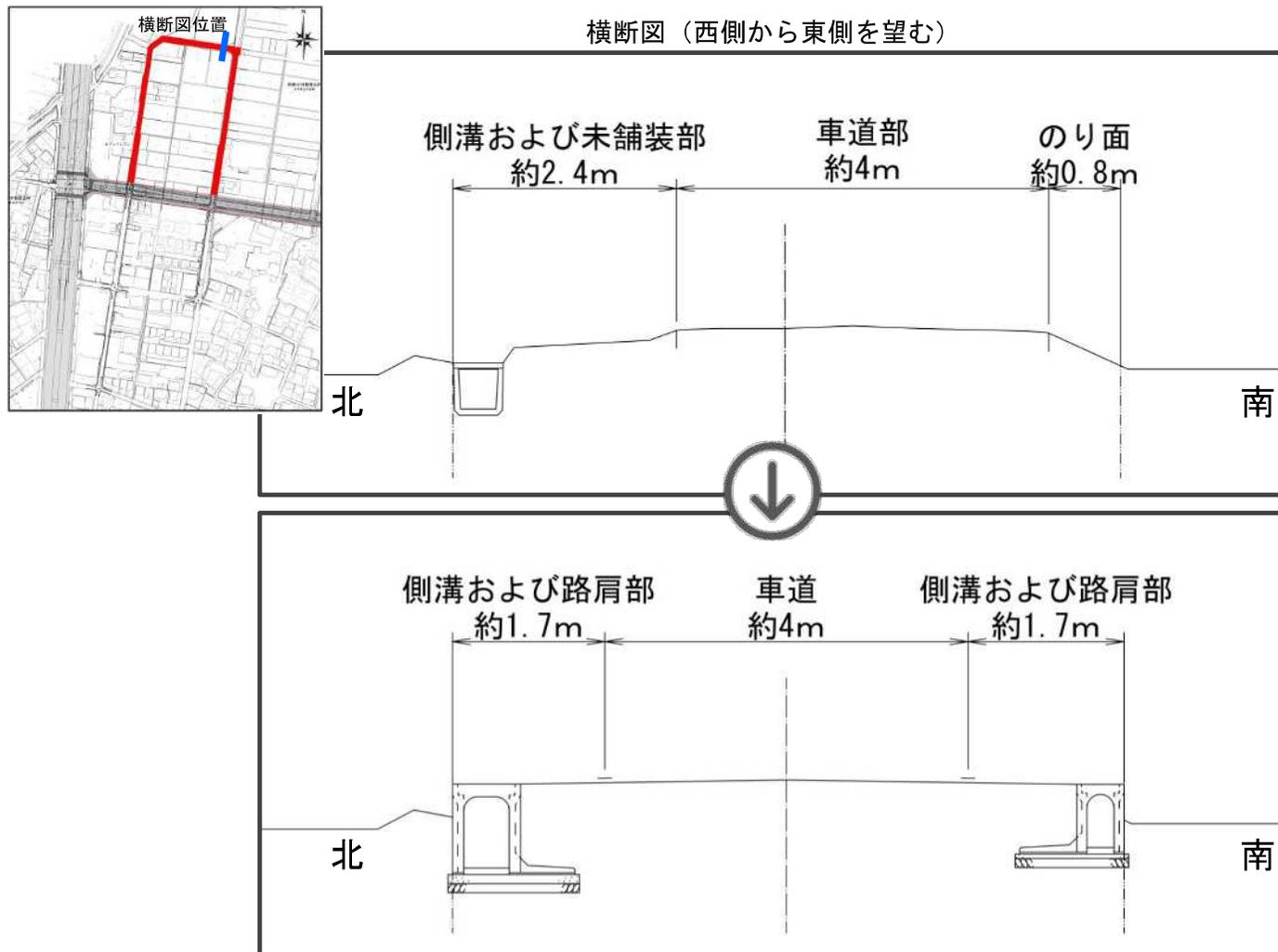
- 道路部 
- 水路部 
- 未舗装部 

【整備後】

- 道路部 
- 水路部 



2-10③ う回路整備(町道113号線)



2-10④ 開水路整備(町道111号線)



【整備前】

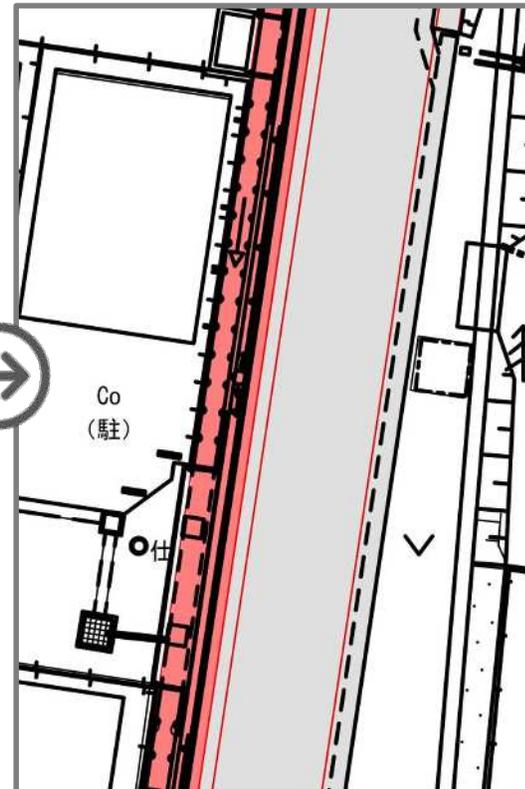
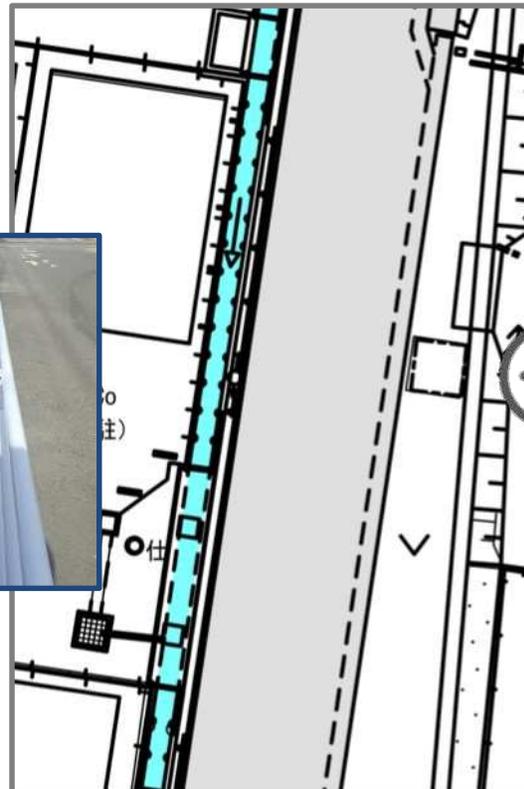
車道部 

水路部 

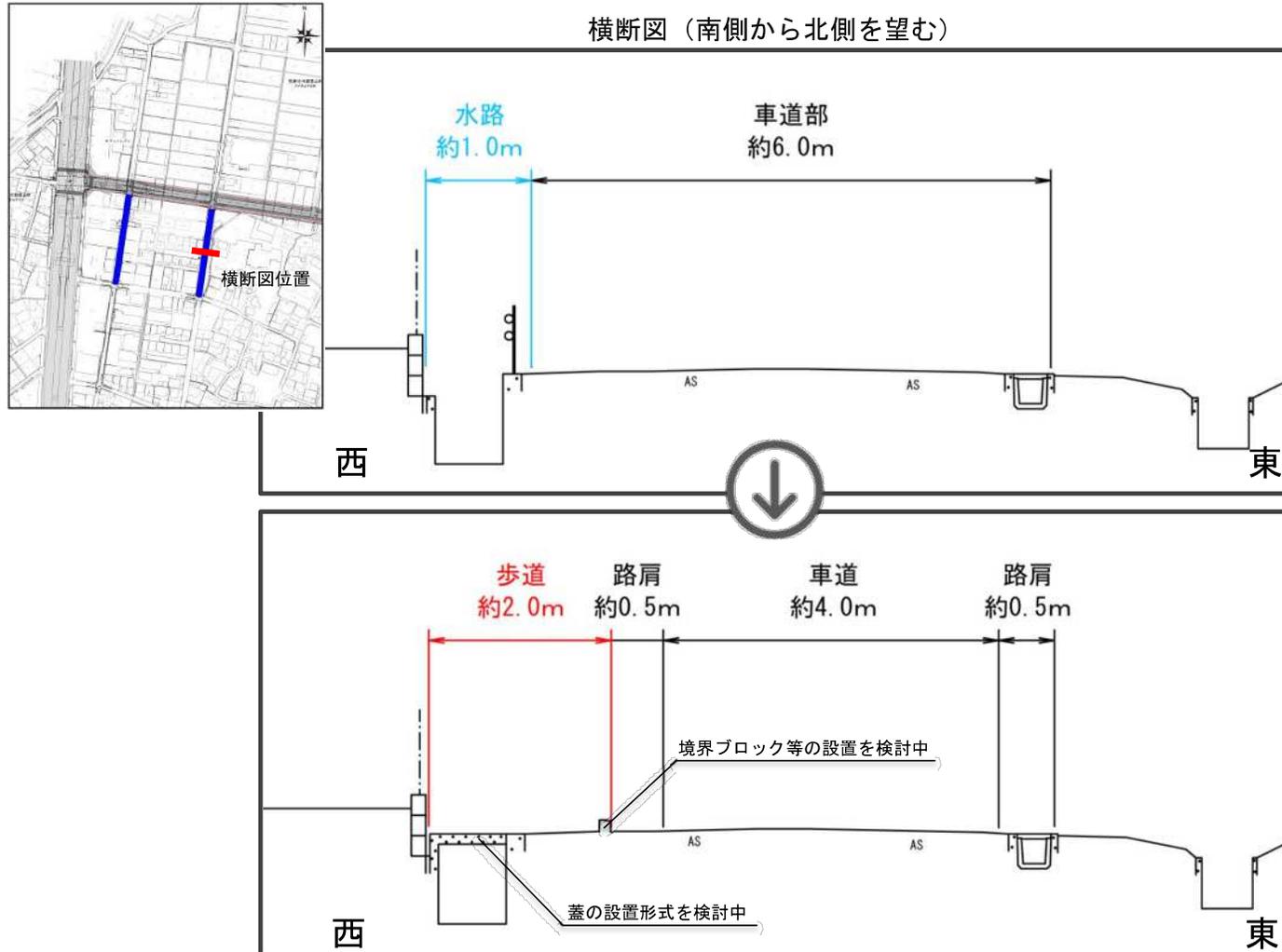
【整備後】

車道部 

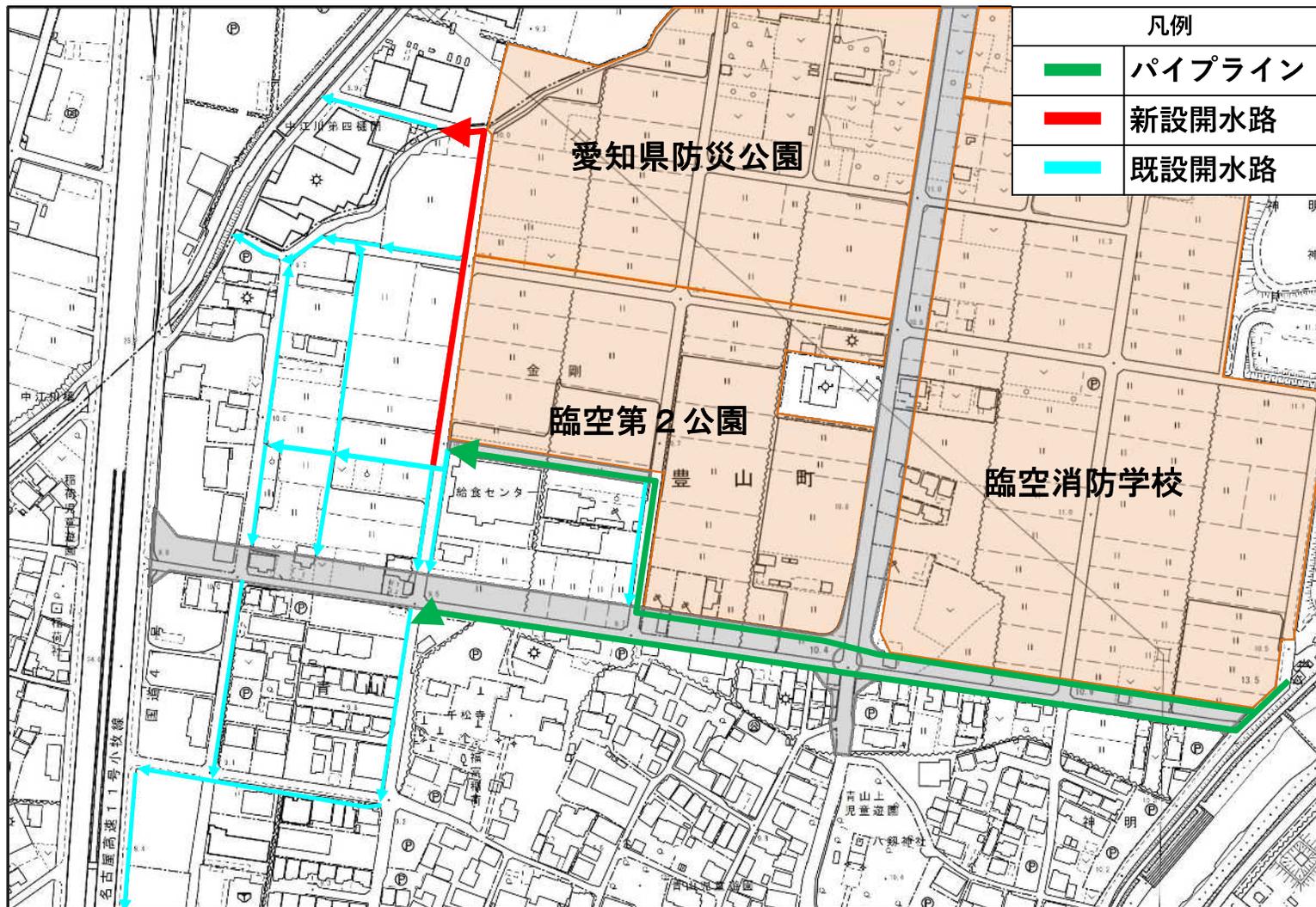
歩道部 



2-10⑤ 開水路整備(町道111号線)



2-11 用水路整備



2-12 整備のスケジュール

内容	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027年度 令和9年度	2028年度～ 令和10年度～
用地取得 (公園・町道117号・110号)	→				
埋蔵文化財調査	試掘調査 →	本調査 →			
	試掘結果により実施の有無決定				
造成工事		■ ■ ■ ■ ■ →			
調整池・貯水槽工事			■ ■ ■ →		
周辺道路等工事		■ ■ ■ ■ →			
公園・アリーナ工事				■ ■ ■ ■ ■ ■ →	

2-13 神明公園の一部閉鎖区域の拡大について

 2024年10月ごろから閉鎖予定区域

 既存閉鎖区域





質疑応答